

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012 年 10 月 4 日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ) サンヨウショウジ カブシキガイシャ</p> <p style="text-align: center;">三洋商事 株式会社</p> <p>(団体名)</p> <p style="font-size: small;">※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名： 三洋商事株式会社</p> <p>所在地： 〒578-0984 大阪府東大阪市菱江 2 丁目 4 番 1 0 号</p> <p>部署名： 総務グループ</p> <p>役職名：</p> <p>氏 名： 上川 郷成</p> <p>TEL： 072-961-3481 FAX： 072-961-3425</p> <p>E-Mail： kanri@sanyo-syoji.co.jp</p>
ホームページ	http://www.sanyo-syoji.co.jp/
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p style="text-align: center;">産業廃棄物処理業（収集運搬業・処分業＜中間処理＞）</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

エコプロジェクト2015

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver. 1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki jun.pdf>

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

当社の全事業活動におけるエネルギー消費に伴い排出される二酸化炭素量を算定
算定方法については環境省の算定ガイドラインを用いた。

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続していた事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

2008年6月（1回目排出権購入）から現在継続中

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

<http://www.sanyo-syoji.co.jp/csr/eco2015.html>

http://www.sanyo-syoji.co.jp/csr/eco2015_co2.html

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援の場合)

①-3 利用者に帰属する排出対象活動

当社の全事業活動におけるエネルギー消費に伴い排出される二酸化炭素量を算定した量を従業員及びHP上に公開

①-4 利用者に対する排出量の提示方法

弊社社内報「絆」にて提示

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1.002 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ

その他(大阪府アドプトフォレスト制度を活用した森林保全活動の実施、環境教育絵本の発行、地元小学校児童向けエコスクールの実施、チャレンジ25宣言への取り組み)

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合(%)についても記載してください。

使用したクレジットの種類: CER

購入先: Ecoscurities Capital Limited (過去4回とも全て)

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

Braco Note III Small Hydro Plant プロジェクト (過去4回とも全て)

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

2008.11.10	移転元: (株)三井住友銀行	移転先: 三洋商事(株)	クレジット量: (入)1,000 t
2009.08.31	移転元: (株)三井住友銀行	移転先: 三洋商事(株)	クレジット量: (入)1,000 t
2009.09.30	移転元: 三洋商事(株)	移転先: 日本国政府	クレジット量: (出)1,352 t
2009.10.26	移転元: (株)三井住友銀行	移転先: 三洋商事(株)	クレジット量: (入)1,000 t
2010.07.07	移転元: 三洋商事(株)	移転先: 日本国政府	クレジット量: (出)1,273 t
2010.07.14	移転元: (株)三井住友銀行	移転先: 三洋商事(株)	クレジット量: (入)3,000 t
2011.08.17	移転元: 三洋商事(株)	移転先: 日本国政府	クレジット量: (出) 975 t

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第 1 回カーボン・オフセット大賞の 1 次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data1st.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。

1、本業において、産業廃棄物を含む処理物の全受入量に対するリサイクル率を向上させ、CO2 排出の大きな原因となる焼却処理の廃棄物を減らし、且つ再資源化率を向上させ循環型社会の一助となる。

2、安全運転促進活動との連動（エコドライブ）

…安全運転とエコドライブの監視装置（みまもり君）設置、エコドライブ・安全運転講習等の効果により、交通事故発生は大幅に減少している。

②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

1、チャレンジ 25 宣言への取り組み

…チャレンジ 25 宣言へ 222 名中 88 名が登録済み。2012 年の夏の節電では、全社を挙げて従業員一人一人が節電に取り組んだ結果、7 月～8 月の電力使用量は 2010 年同期間比▲27.39%と大幅に減少した。

2、アドプトフォレスト（里山・生物多様性保全活動）実施＜実施場所：＞

…従業員家族へのエコスクールも合わせて実施、従業員家族も含め自然に直接接する機会となった。

3、環境教育絵本の発行

…地元保育園や小学校へ無償配布。弊社 HP 上でも申込受付無料送付を実施中である。小学校では図書教育として授業にも取り上げられている小学校があり、環境教育の一助となっている。

4、エコスクールの実施

…地元小学校を中心にエコスクールを実施＜2009 年から延べ 17 校実施の実績＞。環境に対する子供の関心・意識向上に努めている。（終了後は感想文等頂いている。）

2. カーボン・オフセットの内容

①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。

【環境宣言とシンボルマーク】

スタートにあたり当社が必ず果たすべき約束を内外にしっかりと示すため、基本姿勢を明文化した「環境宣言」を定めました。

あわせて「エコプロジェクト2015」のシンボルマークもつくりました。

これは、こつこつと着実に取組みを毎年積み重ねていくことによって、2015年までに1つの命ある木に成長する姿をイメージしており、当社が製作した絵本の主人公「ハッピーくん」も登場しています。



環境宣言

— 地球にありがとうを伝える企業としての約束事 —

地球に「ありがとう」を伝える企業として
三洋商事は、日々の企業活動を通じて
環境への負荷低減に対する取り組みと共に

私たちの活動に必要なエネルギーから排出されるCO₂について
自らの責任をもってオフセットすることをお約束します。

また、2015年度を目指して、
私たちの活動に必要な自然エネルギーをつくりだすことの出来る
三洋商事らしいシステムを段階的に構築することをお約束します。

さらに、私たちが活動を営む地元地域の方々に対して
全従業員自らが、地球環境の保全に寄与する行動を
積極的に実践することを、ここにお約束します。

平成20年6月
三洋商事株式会社
代表取締役 上田博康

②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

【2015年度に向けた5つの取組方針】

環境宣言を具体的に推進していくために5つの取組方針を掲げています。

1. CO₂排出ゼロの実現を目指す。
2. 自然エネルギーを発電するシステムを導入する。
3. 保有する車両を、低公害車・最新規制適合車に代替する。
4. 地元地域に対する環境保全活動を積極的に行う。
5. すぐにも取り組めるエコ活動に積極的に参画する。

3. 環境・地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

地域、そして地球に対する感謝の気持ちを込めて…私たちの会社、そしてここで働く従業員は、地域に、そして地球によって生かされている。

この思いこそが、私たちが CSR 活動に取り組む原点になっています。

三洋商事は創業来、地域の住民の方々の理解、そして地域の方々に働いていただいているおかげで日々の事業活動を営むことができます。

その感謝の気持ちを込めて、2007 年の創業 50 周年を機に「ありがとう祭り」を開催しました。多くの方々から「これからも続けてほしい」との声を頂戴し、毎年恒例のイベントとして定着させていこうと考えています。

また、環境活動「エコプロジェクト 2015」の具体的な取組みのひとつとして、地球の未来を担う子供たちに環境の大切さを知ってもらうため、環境をテーマにした絵本「森の住人 ハッピー」を製作し、地域の幼稚園や小学校に寄贈する活動を行っています。

さらに、2003 年からチャレンジドの雇用を始めました。私たちの必達目標は、法律で求められている雇用率の 1.8% を大きく上回る約 20%。チャレンジドの方々の自立のチャンスを広げることに少しでも役立てればと願っています。

そして何より、私たちは、地球からもたらされる豊かな恵みによって、日々の暮らしを安寧に送ることができています。

この素晴らしい地球を将来の世代に引き継いでいくために、一人一人ができることから取り組んでいきます。すでに業界で最も先駆的にエコ活動に取り組んでいる企業に与えられるエコファーストの認定を受けました。

2008 年からスタートした「エコプロジェクト」では、その取り組みをさらに前進させるべく、2015 年までに使用エネルギーの自給自足することを目標に掲げています。

地域、そして地球への感謝の気持ちを込めて、大切なものをしっかりと守っていきたい。これからも私たちの責務として CSR 活動に取り組んでいきます。

5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

〈前項の記載内容は同じ〉

地域、そして地球に対する感謝の気持ちを込めて…私たちの会社、そしてここで働く従業員は、地域に、そして地球によって生かされている。

この思いこそが、私たちが CSR 活動に取り組む原点になっています。

三洋商事は創業来、地域の住民の方々の理解、そして地域の方々に働いていただいているおかげで日々の事業活動を営むことができます。

その感謝の気持ちを込めて、2007 年の創業 50 周年を機に「ありがとう祭り」を開催しました。多くの方々から「これからも続けてほしい」との声を頂戴し、毎年恒例のイベントとして定着させていこうと考えています。

また、環境活動「エコプロジェクト 2015」の具体的な取組みのひとつとして、地球の未来を担う子供たちに環境の大切さを知ってもらうため、環境をテーマにした絵本「森の住人 ハッピー」を製作し、地域の幼稚園や小学校に寄贈する活動を行っています。

さらに、2003 年からチャレンジドの雇用を始めました。私たちの必達目標は、法律で求められている雇用率の 1.8% を大きく上回る約 20%。チャレンジドの方々の自立のチャンスを広げることに少しでも役立てればと願っています。

そして何より、私たちは、地球からもたらされる豊かな恵みによって、日々の暮らしを安寧に送ることができています。

この素晴らしい地球を将来の世代に引き継いでいくために、一人一人ができることから取り組んでいきます。すでに業界で最も先駆的にエコ活動に取り組んでいる企業に与えられるエコファーストの認定を受けました。

2008 年からスタートした「エコプロジェクト」では、その取り組みをさらに前進させるべく、2015 年までに使用エネルギーの自給自足することを目標に掲げています。

地域、そして地球への感謝の気持ちを込めて、大切なものをしっかりと守っていきたい。これからも私たちの責務として CSR 活動に取り組んでいきます。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp